

1 ごあいさつ

日本サーバス中国四国支部長 U.S

辰年は、昨年まで努力してきたことが実を結んで形が整う年だと言われているようです。更なる努力をすることで、成功にスピード感をもって近づける年となるそうです。

2023年度を振り返りますと、4月のお花見例会、10月の秋例会（西条酒蔵巡り）、12月のオンラインでの総会とコロナ後の対面での交流会のお陰で、会員間の親睦を深めることができました。今回の会報には、「第2回東広島市西条酒蔵巡り」の報告が掲載されていますので、歴史ある西条を味わって頂きたいと思います。また、5月のG7広島サミットの影響で、広島を訪れる観光客がぐっと増え、原爆資料館は長蛇の列ができ、宮島はお店のスタッフが足りない状況です。トラベラーの来広も多く、会員の皆様もホストやデイホストとして活躍されています。受け入れ報告のいくつかを掲載させて頂きましたので、ご覧ください。

中国四国支部が抱える問題は高齢化です。若い会員の入会を願って、リーフレットを100部印刷しました。会員の口コミを通して、サーバスの趣旨を理解し、サーバス精神のある方に入会していただけるように全会員で頑張っています。嬉しいお知らせはお二人の新会員さんが入会されたことです。お二人とも海外経験豊かな方で、支部活動を支えて頂けることと期待しています。また、新支部長も決定しましたので、2024年度4月からは新体制でスタートすることになります。

1年間の支部長でしたが、会員の皆様のご協力のお陰で、新支部長さんへバトンを渡すことができましたこと、心より嬉しく、また、感謝申し上げます。

世界が平和をより強く願う今こそ、サーバスの精神が生かされるときかもしれません。2024年度も元気いっぱい、サーバス活動を進めて参りましょう。



縮景園の梅園

本 号 の 内 容

- | | | | | |
|---|------------------|-------|---------------------|--|
| 1 | ごあいさつ | | P1 | U.S |
| 2 | 新会員 ごあいさつ | | P2 | V.T |
| | | | P3 | I.H |
| 3 | 第2回例会議題報告（議事録） | | P4 | S.S |
| 4 | 第3回総会議事報告 | | P4 | T.M |
| 5 | 第2回例会～西条酒蔵ツアー～報告 | | P5 | K.T |
| 6 | トラベラー受け入れ報告 | | P6 | U.S(5月)・ P8 S.Y(6月) |
| | | | P9 | U.T(8月)・ P10 T.M(9月・11月) |
| 7 | 2024年度へのお知らせ | | P11 | U.S |
| 8 | 編集後記 | | P11 | S.Y |

2 新会員 ごあいさつ

新会員 V.T

サーバスとの出会いは、2000年くらいでしたでしょうか。初めてサーバスの旅行者としてアメリカとカナダに行きました。アメリカでは小型旅客機やヨットをお持ちのホスト宅にもお世話になりました。ホストがご自身の小型旅客機を、もちろん免許のない夫に操縦させてしまったことは、命の危険を感じる出来事でした。夫は17歳の時に英国から父親の出身国のハンガリーまで自転車旅行をしたときに初めてサーバス旅行者になった、筋金入りのサーバスメンバーです。

世界遺産のイタリア・シエナでサーバスホストを始めたのは、2001年ごろでした。シエナ色と呼ばれる橙色の屋根瓦の美しい中世の街です。その最上階のテラスのあるアパートでシエナ色の屋根をながめながら暮らしたことを思い出します。イタリアのサーバスホスト達とは、その後も仲良く交流が続きました。

旅行者として、フランスやイタリア、そして日本の地方もたくさん旅行しました。そこで出合ったホストファミリーの飼っている犬が必ずと言っていいほどとてもフレンドリーで、親切な飼い主に飼われるとそうなるのだなあと妙に腑に落ちました。

そのあと、英国スコットランドのエディンバラに引っ越して、2011年ごろまたホストを始めました。エディンバラもこれまた世界遺産の美しい街です。夏には国際的なフェスティバルがいくつも開かれ、街が華やかに活気づきます。

松山市に引っ越してきて、感染症の収まった今年2023年にサーバスに加入しました。日本のサーバスは集まりを計画したり、会報があったり、きっちりと活動をされている様子ですね。イタリアでも英国でもそれはなかったので、お国柄だなあと感心しています。加入時のインタビューも他の国ではなかったように記憶しています。

四国には、現在ホストが他にいないのでぜひ増えてほしいですね。春と秋に旅行者が多く、四国八十八か所巡礼が人気です。新幹線の通っていない四国まで足を延ばして来るとは、当然旅行好きな人々で旅慣れています。八十八か所をほぼ徒歩で踏破してしまった旅行者や、しまなみ海道をサイクリングし、室戸岬まで行ってきた旅行者。屈強の体力と脚力、旅行者魂と好奇心を持っている姿に、自分もあなりたいものだと旅行心を刺激されました。この地でホストになってまだ半年ですが、松山に来たいという方がいるのは嬉しいことですし、世界中の様々な人と友達になれるサーバスは他の何物にも代えがたいものだと、サーバスの活動に参加させていただいていることに感謝しています。

現在、鳥取県米子市の実家に住んでいます。高校までは、こちらに住んでいましたが、その後、香川県に学生として4年間、仕事は、家庭用品関連の研究部門に従事していましたが、広報的な内容がメインでした。その関係で、大阪に24年間、その後、転勤で東京に14年間住んでいました。介護のため、定年退職後、実家に帰省し、既に10年がたちました。



コロナの関係で、好きな旅を控えていましたが、コロナ前に計画していたアラスカの旅を、これ以上歳を重ねては無理があると思い、今年、70歳を記念に、思い切って、実行に移しました。

アラスカでの厳しい自然環境の中で、環境に配慮した自給自足的な生活を営んでいらっしゃる方々の方で、作業がメインの旅でした。その方からサーバスのお話を聞いたのが、きっかけでした。その後、ネットを通じて、サーバス活動の詳細を知り、共感すると同時に、ホームステイ先を探す難儀さが少なくなると思い、早速、申し込みをしました。

ホームステイの旅の面白さは、学生時代に北海道の別海町にて、ファームステイをほぼ1か月した体験からでした。

しかし、海外のホームステイ先を探すのはとても大変で、今までは、英会話の先生や友達などにお願ひし、米国、ネパール、スウェーデン、オランダ、オーストラリアなどで、ホームステイをすることが出来ました。家庭の様子や環境配慮の仕方やライフスタイルなどの違いから、気付くことが多く、国際交流の体験はとても私の人生を豊かにしてくれているように思いました。

今とても関心のある国は、アイスランドです。男女平等の意識が世界1位で、この国はどんなライフスタイルなのか？とても興味津々です。

ところで、今までに、ホストとしての受入れは、両親が元気な折に、お世話になった米国とオランダのご夫婦で経験したことがあります。

今は、両親が亡くなり、実家にて、一人で生活をしています。残りの人生は約20年と設定し、終活の一环として、環境問題、地域貢献などをテーマに活動しています。また、趣味は健康維持のための水泳やその土地の食べ物を楽しむことなどです。

現在、米子市の在住外国人は約1550人で、年々増加していますので、鳥取県国際交流財団などを通じて、日本語指導のボランティアも楽しんでいます。

観光だけの旅でなく、異文化交流の旅は、私の好奇心を未だにくすぐっています。いつまで、海外の旅ができるか分かりませんが、今後もうできるだけ楽しみたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

WELCOME

新会員お二人による新風を受けて中国四国支部の活動がより活性化することでしょう。

ホームページや、リーフレットなどの活用を通してこれからもさらに会員が増えていきますように～



3 第2回例会議題報告（議事録）

S. S

1 開催日時・場所・出席者

日時：2023年10月15日（日） 午前11時30分～午後1時

場所：東広島市西条 ^{ふらんすや} 佛蘭西屋・2F

出席者：7名

2 議事進行 司会者：K. K 書記：S. S

（1）支部長挨拶

（2）会員近況報告

議題

（1）支部長連絡

① 臨時国内会議報告及び決定

② 退会届および支部移動届書式決定

③ 竹中プロジェクトの開始！

④ 東アジアミーティング開催

⑤ 「日本サーバス 50 周年記念誌」希望者への送付

⑥ 「L O I 発行申請書」への付記

（2）各係からの連絡・お願い

○ 会計：H

○ ホストコーディネーター：K

○ 企画：T

（3）「第3回年度末支部総会」の確認

（4）2024年度支部長選出に関して

○ アンケートのまとめ

○ 選出方法に関して意見を出し合う。

4 第3回総会議事報告

T. M

1 開催日時・場所 2023年12月10日（日） 14時～16時 Zoom オンライン

2 議事進行 司会者：S. S 書記：T. M

3 出席者 7名

4 議題（1）支部長報告

・ 第1回、2回例会報告～省略～

・ 竹中プロジェクトの開始

・ 東アジアミーティング

・ 本日（12/10）21時からのイベントのお知らせ：－

・ 新会員紹介：4月 V. T 会員（愛媛県松山市）・11月 I. H 会員（鳥取県米子市）

・ トラベラー O. D さんに関して

・ リーフレット作成：

（2）2024年度新体制 支部新役員ならびに支部新担当係

（3）来年度の活動計画

第1回春例会 4月21日（日）午後2時～午後4時 オンライン

第2回秋例会 9月29日（日）日帰り（候補地：尾道、呉、福山）

総会 12月8日（日）午後2時～午後4時 オンライン

（4）会員同士の連絡ツールについて

（5）会計より、今年度決算および来年度会費について

5 第2回例会：歴史探訪～西条酒蔵ツアー～報告

K. T

＜西条といえば「酒蔵ツアー」＞ 秋例会は10月15日（日）、Tさんの企画で酒蔵巡りとなりました。澄み渡った気持ちのいい秋空に恵まれたこの日、6名の参加で和気あいあい街歩きを楽しみました。

「西条」は、兵庫の灘、京都の伏見と並んで日本三大酒都の一つに数えられます。現在、西条駅前の酒蔵通りには7つの蔵元（加茂鶴、福美人、白牡丹、西條鶴、亀齢、賀茂泉、山陽鶴）が軒を連ねます。なぜこの地にこのような酒造りの町ができたのでしょうか。

＜西国街道の宿場町＞ この地の酒造りは、江戸時代の西国街道（京都から下関までの街道）が通り、ちょうどこの酒蔵通りの場所がその宿場町だったことに由来しています。初めに訪れた「御茶屋」（写真1）の建物は、広島藩直営の宿となつたところで、大名が宿泊した本陣跡を復元したものです。酒は旅する人にとって格別なものでした。「人の往来あるところに酒と女あり」というところでしょうか。

＜西条の水事情＞ 次に訪れたのは、「加茂鶴酒造見学室直売所」ですが、その入り口には「福神井戸」（写真2）がありました。酒造りに欠かせない水事情に興味がわきました。一般的に酒造りには硬水が適しているとされますが、西条の水は中硬水（硬水と軟水の間）だということです。明治になって三浦仙三郎氏（安芸津の醸造家で、吟醸酒の父と呼ばれている）により画期的な軟水による醸造法が発明され、西条でも質の高い日本酒の生産が可能となったということがわかりました。西条を三大酒都に押し上げた技術革新があったのです。

＜明治期からの大量生産を可能にした山陽本線＞ 江戸時代に始まったとされる西条の酒造りですが、現在のよう大きく発展したのは明治時代に入り醸造の免許制が廃止された後でした。ここに大きく貢献したのが山陽本線の開通です。貨物引込線が酒造会社まで引かれて酒の大量輸送が可能になったということです。明治期に富国強兵に邁進した日本は各地に軍事拠点を築きました。日清、日露戦争による軍需景気には酒需要の拡大も含まれていたことでしょう。酒の生産量は大きく増加しました。軍都広島、海軍の呉と軍事拠点が置かれたこの広島では、鉄道交通の要衝にあった西条でつくられた酒が、軍関係者のもとに届けられたわけです。

＜酒造りと煙突＞ 現在、西条には酒づくり関連の煙突が15本存在します。しかし、現役で働いているものはありません。かつて煙突は、燃料の薪や石炭の燃焼を助けるための通風の役割と燃料が排出するばい煙を空中に送り出すための装置として使われたとされます。酒米を蒸す工程では大量の石炭が使われたことでしょう。ちなみに15の煙突のうち最も高いのは福美人の煙突だそうです。私たちは加茂鶴の煙突の前（写真3）で記念写真を撮りました。

＜技術の高さ：福美人酒造＞ 大正時代、全国新酒鑑評会の最高位を3年連続受賞し、全国から杜氏が集まる酒造学校となりました。歴代首相の色紙や元祖カープ募金のたるが展示してありました。

＜賀茂泉酒造 酒泉館＞ お酒喫茶であり、賀茂泉酒造のお酒が20種類以上、1杯200円から楽しめます。

＜佛蘭西屋で昼食＞ 牛ホホ肉の煮込みランチコース（3530円）を楽しみました。ゆったりとした個室で過ごせました。（写真4）

＊参考文献：『西条地歴ウォーク』広島大学の院生と教員が本気で調べまとめた本

写真1



写真2



写真3



写真4



6 トラベラー受け入れ報告

スペイン・バスク州からの楽しいご夫妻

U.S

G7 広島サミットが5月19日(金)から21日(日)まで開催される3日前の5月16日(火)にスペイン・バスク州・Vitoria-Gasteiz (ビトリアーガステイス) からJ.MさんとA.Aさんご夫妻が来広されました。数日前に広島駅に行きますと、外国人観光客で溢れ、まるで外国にいるような騒然とした雰囲気でした。これではきっとご自分達でホテルまで行かれるのは難しいだろうと想い、「SERVAS と書いた紙を持って、改札口に立っています」とお知らせすると、大変お喜びになりました。

LOI でお写真を拝見していましたので、直ぐ分りました。改札口から出て来られるや否や、Aさんとハグしてしまいました。なぜか、旧知の友人を出迎えた思いでした。これがサーバス会員の絆なのでしょうか。まだコロナ禍ということもあり、我に返り、Jさんとは日本式の挨拶をしました。お二人とも、明るく、礼儀正しく、オープンマインドな方というのが第一印象でした。

ホテルは初めて耳にする「ワビサビホテル」ということでしたので、一日前に下見に行き、荷物を預かって頂けることを確認しておいて良かったです。G7 サミット開催で、駅付近は全国各地から集結された警察官の物々しい警備があり、手荷物預かり所は閉鎖されていました。

タクシーでホテルに向い、お部屋に荷物を置いて、まず、SIM カード購入のため電機店に行きました。スマホにセットするのに四苦八苦でしたが、若い男性店員の方が一生懸命手伝ってくださり、お二人とも店員さんの親切な対応に感心されていました。1時間以上かかりましたが、これで日本滞在中、データ通信が可能になり、ご夫妻は大満足でした。



既に12時半を過ぎていましたので、まず、ランチにしましょうということで、「猫かつとん」でカレーライス注文しました。このお店のオーナーさんにご両親もスペイン人ご夫妻を大歓迎してくださいました。お店には猫のグッズがあちこちに飾ってあり、ドア近くには雑貨販売コーナーもあり、猫好きには興味津々のお店です。カレーのお皿も猫デザイン、食後のコーヒーについてくるクッキーも可愛い猫型です。バスクにはこのようなお店はないとのことで、結構楽しませていました。広島で味わうカレーライスも気に入って頂きました。

食後は、お店の近くのギャラリーで日本画の個展を開催している友人の絵を鑑賞しました。既に、スペイン人ご夫妻をお連れすることを知らせていたので、素敵な短冊をお土産に用意して頂き、お二人とも感激されていました。

一枚は「若竹」、もう一枚は「紅く色づいた柿」を題材にした日本画でした。また、絵葉書もプレゼントして頂き、素敵な思い出ができ、お喜びでした。





少し歩きますと、カトリック幟町教会(世界平和記念聖堂)があります。原爆で倒壊・消失した後、原爆犠牲者を弔うだけでなく、全世界の友情と世界平和を祈念して、建設されました。建築家村野藤吾の設計で、2006年7月5日に丹下健三設計の広島平和記念資料館とともに、第2次世界大戦後の建築として初めて重要文化財に指定されました。教会の歴史を説明しながら、教え子の一人がここで結婚式を挙げた当時を懐かしく思い出しました。

幟町界限は広島市内八丁堀から縮景園途中のオフィスやお店が並ぶ、活気がありながら、しかも落ち着いた場所です。次は、お父様が藍染め作家としてご活躍されている教え子の「あとりえ&ぎゃらりー」を訪れました。レンガ造りの素敵なビルの2階の入口を通過すると、お庭のバラをモチーフにされた藍染めの作品がたくさん展示されていました。藍染めの説明をご熱心に聞かれ、大変ご興味をもたれたようでした。店内の藍染めの衣服や陶器なども真剣にご覧になり、オーバル形の小石原焼の染め付け皿を購入されました。また、接待の冷茶とお団子が美味しかったようで、八女新茶も買われました。丁度、「ぎゃらりー」にお越しの水引の先生から、素敵な菖蒲とバラの作品を頂かれ、その素晴らしさに感動していました。



目的地の縮景園は「ぎゃらりー」の近くでしたので、到着したのは午後4時30分ごろでした。表門を入ると、右手の牡丹園近くで真っ白な美しい「ヤマボウシ」の花が目に飛び込んできました。

Aさんも私も直ぐ、写真に収めました。何度も縮景園を訪れるのですが、この時期、初めて出会った「ヤマボウシ」の新鮮な美しさは心に残りました。園内の原爆に関係する大銀杏の木、慰霊碑、当時の写真など紹介しながら、回遊しました。お医者さまでもあるAさんは江戸時代に作られた薬草園に関心をもたれました。



園内の鯉がたくさん集まっている跨虹橋^{こうきょう}の上からは庭園の全風景を眺めることができるので、「登ってみてはどうですか?」と言うと、即お二人で、橋上に泰然と立たれました。

午後6時まで開園していましたので、午後5時50分ごろまで、のんびり散策し、池に生息している亀を見たり、竹林の可愛い竹の子を楽しんだり、茶畑で、茶摘み行事の説明をしたり、名勝縮景園を堪能して頂けました。

夕食はお好み焼きです。3代続く広島で有名な「みっちゃん」に予約しました。いつもの「肉玉そば&青ネギトッピング」を注文、出来上がるまで、鉄板前で手順を見学しながら、女将さんから「みっちゃん」の歴史を聴きました。お祖父様が始められ、お父様のご兄弟が独立され、それぞれがお店を構えられたので、あちこちに「みっちゃん」があるとのことで、納得しました。

午後8時過ぎ、「ワビサビホテル」までお送りし、再会を誓ってお別れしました。疲れを感じない、充実感いっぱいの思い出に残る、デイホストの一日でした。



後日、バスクについての知識は、「バスクチーズケーキ」のみの友人達も、“あれから、バスクについて、いろいろ調べ、勉強になったわ！！”と、お二人との出会いに感謝していました。Aさんによると、バスクの人たちは、「バスクケーキ」と言うそうです。

ドイツ ハンブルグのトラベラー

S.Y

6月18日に、ドイツのハンブルグのトラベラーをデイホストしました。とても気さくな夫婦で(S&N) Nさんは、2M身長がありました！自宅ですき焼きを食べて、いろいろなお話をしました。スポーツが好きで、皇居でヨガをされたり、毎日 Zumba を踊っているそうです。ウクライナ問題は、ドイツ人として、なにもすることができないとおっしゃっていました。食事が終わったら、プリンスに移動して、カフェで珈琲を飲みました。G7が記念撮影した場所で、写真をとりました。夕方、市内まで車で送って、おすすめのお好み焼きを食べましたと写真がきました。とても感じのよい夫婦でした。



ベルギーから仲良し親子の元気旅

U.T

日本へは、まず北海道に降り立って、日本の自然を堪能しながら、南下して来られたようです。ちょうどお盆の最中に、連日の暑さにもめげず、親子3人、リュックを担いで元気よく呉までやってきました。

私が北海道へ行ったことがないというので、ベルギーだけでなく北海道土産のお菓子を沢山くださいました。食べ物と言えば、食事はヴィーガンーつまり肉も魚も卵も食べません。牛乳や乳製品は OK ですが、パンもほとんど食べないというので食事の内容には気をつかいました。出汁は昆布か油揚げでとって、野菜の煮物やちらし寿司などを一緒に作りました。やはり和食はベジタリアン向けで便利だと思いました。

旅やスポーツ、教育活動を通して相互理解の大切さを、ご家族で共有されていました。お父さんの A さんは現在在宅でビジネス、お母さんの A さんは市内にお勤めです。A さんは公用語の独、仏、蘭語の3か国語に加えて英語、さらにスペイン語、ポーランド語も話されます。娘さんの P は将来エンジニアになりたいと勉強中で、趣味の空手は黒帯持ち。学校の勉強と空手の練習で忙しく、スマホゲームなどで遊ぶ暇はないといっていました。礼儀正しくてかわいい15歳でした。

翌日は新幹線で姫路に行くというので、少し窮屈でしたが、車で広島駅までお送りしました。家に帰ってみると、台風のため新幹線が止まっているとのニュースが。心配でメールしたところ、在来線で姫路まで行くことにした、とのメール。何でも新しい体験だよ、とのポジティブ思考にホッとしました。

サーバス旅行は初めてということで、とても喜んでおられました。写真は夫の趣味の帆船模型です。現在制作中の別の模型を前に話に花が咲いていました。コロナ後初めてのホストで、色々忘れていたこともあったのですが、楽しいひと時でした。



初めてのデイホスト

T. M

日時 7月9日(日) 9時～11時

トラベラー B.V 女性 カナダ

ホスト T.M

平和公園のさだこの碑で待ち合わせをして、本川小学校に行きました。そのあと、シャレオでコーヒーを飲み、話をしました。彼女は17歳の息子さんと旅行中でしたが、彼はホテルにおり、おひとりで会ってくれました。カナダでは人権NGOで働いておられ、ご主人と世界中をバックパックで旅したそうです。ご主人が亡くなられたあとも元気に旅行しておられます。今回は、東京、京都、金沢、大阪そして広島の旅だったそうですが、サーバスを利用したのは広島だけだったみたいです。年代も近い方で、参考になることもたくさんありました。



二回目のデイホストはポーランドから

T. M

日時 11月4日(土) 10時～21時

トラベラー M&E (ご夫婦) (ポーランド)

ホスト M.T

広島が初日だったので、平和公園—広島城—縮景園と黄金のルートと一緒に歩きました。昼食はどうしようかと思いましたが、観光シーズンでどこも混みあっており、天気も良かったので、デパ地下でお弁当(寿司)を買って屋外で食べました。夕食を家で食べていただくために、帰ってから作る時間をどう短縮しようかと数日前から思案。その結果、ポテトサラダとおでんを前日と朝に作っておきました。メインはとんかつで、これも揚げるだけにしておきました。ポーランドについては本当に何も知らなかったのので、話をするのがとても楽しかったです。ウクライナとロシアの戦争のこと、ドイツとのこと、西ヨーロッパとのこと・・・ポーランドは近代のヨーロッパ戦争の象徴のような場所でした。日本に対しては、中国(台湾問題)、ロシア、北朝鮮に近いので、ポーランドと同じような地政学的リスクがあると思っておられました。びっくりしたことは、夫がベートーベンのピアノ協奏曲のCDをかけた時に、Mが最初の音を聞いただけで「5番ね」と言ったことです。クラシックが根付いているヨーロッパ人だなと思いました。心残りがあるとすれば、買い物をしたスーパーで、Mがくじらの刺身を見つけ、興味津々だったのですが、私も夫も食べたくなかったので渋い顔をして買わなかったことです。くじらを食べることなんて日本以外でなかなかできないので、買えばよかったなと今思っています。WhatsAppでその後もEと連絡を取り合っています。

7 2024 年度へのお知らせ

- 2024年度3月31日までは、現在の執行部で活動します。
- 2024年度4月1日からは、新執行部が新システム（teams）を使用して活動のスリム化を推進して参りますので、ご協力をお願いします。
- 2024年度4月21日（日）の例会はオンライン会議、9月29日（日）の秋例会は日帰り旅行、12月8日（日）はオンライン総会となります。
- 2025年度からは4月に総会を開催し、9月～11月の間に秋例会を企画しています。スリム化を考え、年2回（総会と例会）のみにする予定です。
- 日帰り旅行は難しいかもしれませんが、オンライン会議には広島県外の会員の方々もご都合をつけられてご参加をお願いいたします！

8 編集後記

S.Y

今回も、原稿を提供してくださった皆様、ありがとうございました。
おかげで、充実した内容となりました。
これからもご協力のほど、よろしくお願い致します。



(Y 作)